



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://tsukuba-net.jp



2017年4月14日 vol.50

## 水道料金値上げ ちよつと待った！38%も？

### 赤字が続く つくば市水道事業

つくば市の上水道料金は昭和58年以来30年以上据え置きでした。しかし、H27年11月に38%もの値上げが必要であるとの「上下水道審議会」の答申が出されました。値上げの理由として①赤字幅の増大、②現金預金が、運転資金として年度当初に必要とされる10億円を割り込んだこと、③要望の出ている上水道未整備地区への配管の資金が必要、などが挙げられています。

### 学習会や調査で 浮かび上がった疑問

38%という値上げ幅があまりに大きかったため、つくば・市民ネットワークでは審議会の議論を検証するために「水道事業学習会」を開催しました(2月17日、22名参加)。

この学習会と前後してさまざまな資料を集め、また担当課に質問を重ねた結果、いくつもの課題が見えてきました。なぜ30年以上も水道料金

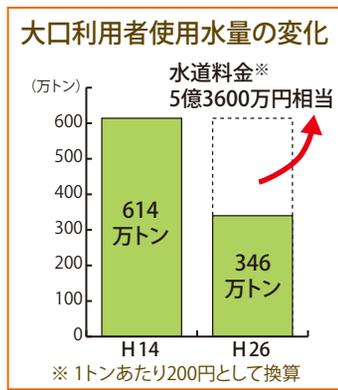
を据え置いてきたのか。通常市町村は数年ごとに審議会を開催し、収支、修繕や新規整備を含めた事業全体のチェックを行い、必要に応じて料金改定を行います。

しかし、つくば市では潤沢な現金預金があったためか、H25年まで30年以上二度も審議会が開かれませんでした。そのうえ、今回の料金見直しにあたっては、コンサルタント頼みで自前で計算していないことが分かりました。

そのため、答申の結論に疑問があっても試算ができない状態です。これでは審議会で様々な条件下での検討がされたかどうか疑問です。

### 大幅赤字の 原因は？

先に挙げた値上げの理由のうち①の赤字幅の増大の大きな原因は、大口利用者である

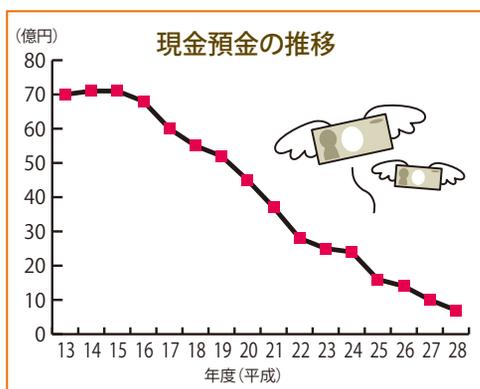


る研究機関や大学等の使用量の激減です。

経費削減のために地下水利用が進んだため、大口利用者の需要に合わせて作った設備の維持管理に見合った使用料が回収できない状況です。

これは全国的な課題となっており、一例として京都市では地下水と上水道を併用している大口利用者に上水道の施設維持費の負担を求める条例が制定されました。

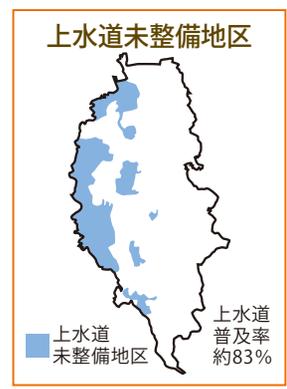
②については、一時は現金預金が70億円程度と潤沢でした。そのため、平成11年から収支が赤字に転じたにも関わらず、料金の見直しをせずに、この預金を食いつぶして来た結果です。



そして③の上水道未整備地区への整備については、3月

議会で上水道の早期整備を求める請願を採択しました。

未整備地区の大部分を占める簡易水道では、老朽化が深刻とのことです。しかし、本当にすべての簡易水道を上水道へ切り替える必要があるかは、調査が必要です。



### 今こそ情報共有と 意見交換を

現在の状況から「値上げは不要」という結論を導くのは難しいと考えます。値上げを提案する際には、事業の総ざらえが不可欠です。無駄はないか、財政シミュレーションは適切か、今からでもコンサルタント任せにせず、自ら精査し、市民に丁寧に説明するべきです。その上で、行政、議会、市民が本音で話し合い、妥協点を見出す必要があります。

そのために、市民ネットでは情報共有を進め、行政も交えた意見交換を行っていきます。

## つくば市議会 議会報告会

2017年5月14日(日)

10:00~12:00 市民ホールつくばね  
14:30~16:30 老人福祉センターとよさと

議会の内容を報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。

主催：つくば市議会



## 議員と話そう!会

定例会議会の報告を兼ね、みなさんと意見交換を行います。つくバス改善案、高齢者福祉サービス、教育などテーマは様々。お気軽にご参加ください。

- 5月16日(火) 10:00~12:00 竹園交流センター 小会議室
- 5月18日(木) 10:00~12:00 荃崎交流センター 研修室
- 5月21日(日) 14:00~16:00 つくば・市民ネットワーク事務所
- 5月22日(月) 10:00~12:00 春日交流センター 小会議室

会派代表質問を行いました。

# 子育て支援の充実、地区相談センター、行政の見える化を推進

会派代表質問は、毎年3月議会で市長の所信表明に対し、政策的な観点から行う質問です。五十嵐新市長になって初めての3月議会。新年度予算には市長選の公約を具現化するため、様々な重要施策が盛り込まれています。そこで、市民ネットでは自分たちの政策方針に基づき、施策の内容や進め方を確認し、補強すべき点の提案を行いました。

**Q1：「こども部を新設して子育て世代への必要な情報とサービスを縦割りでなく提供する」とあるが、具体的にどう変わるのか？**

**A：**「福祉部からこども課を分割してこども部とし、子ども政策課、幼児保育課、子ども育成課の3課に充実させる。これまで保育所入所や児童クラブの利用は福祉部、幼稚園入園や放課後子ども教室の利用は教育局の担当と分かれていたが、子ども部で一元化し、サービス向上を図る」

これとともに民間保育所の保育士に月3万円の給与助成も計上され、子育て支援に本気で取り組むという市長の決意を感じます。

**Q2：「学校等適正配置計画の見直しを進める」とあるが、見直しのポイントは？**

**A：**「時期を早めて29年度中に見直しに入りたい。周辺部を手厚くすることがポイントの一つ。また小中一貫教育の検証を客観的、多角的に行い、いい成果があれば続けるが、方向転換する必要があるればしかるべき方向に転換する」

小中一貫教育の客観的検証はずっと求めてきたことであり、期待しています。

**Q3：「各地区の相談センターや周辺市街地振興室、学園地区市街地振興室を設置する」とあるが、その内容や進め方は？**

**A：**「相談センターでは職員が積極的に地域に入り、地域の事を地域の皆さんと一緒に考えていく。周辺市街地振興室は、まず現況を丁寧に把握し、課題を検証して地区振興のビジョンを地元の皆さんとともに考え、市街地の維持、振興の方策を検討していく。学園地区市街地振興室は公務員宿舍跡地や西武跡地対策、センター地区活性化協議会との連携により学園地区再生のビジョンを描いていきたい」

どれも職員が地域に入り、市民と共に地域を考える取組みであり、市民の側も積極的に参画する姿勢が求められます。

**Q4：行政運営の見える化をどう進めるか？**

**A：①会議公開条例**を策定し、全ての会議の開催情報や会議録、会議資料を原則公表する。

②市民と情報を共有するためには**公文書の適正な管理**が非常に重要であり、管理指針の策定を検討し、条例化を見据える。

③政策形成段階における市民参加を推進するため、審議会等への**市民委員公募に関する指針**を策定し、全庁的な運用を図っていききたい。

④市民が市政情報を気軽にみられる**情報公開室**を市役所1階に設置するよう検討を進める。

さらに行政運営の透明性を高めるため、**予算編成過程の見える化**に取り組むことを提案しました。



つくば市議会議員  
都市建設常任委員会副委員長

## 宇野 信子

### 会派代表質問項目

- ・安心の子育て
- ・未来を担う子どもを育てる教育
- ・市民と地域に寄り添い、ヴィジョンを描く
- ・行政運営の見える化
- ・平成29年度の重点施策



といわざるを得ない事態

# なぜ、組織ぐるみの隠ぺいが、起きてしまったのか？



つくば市議会議員  
環境経済常任委員会委員長

## 北口ひとみ

### 一般質問項目

- ・原発事故関連の支援
- ・秀峰筑波義務教育学校
- ・上水道事業



筑波地区に、7つの小学校と2つの中学校を統合する秀峰筑波義務教育学校が建設されている。昨年12月、工事遅れのため今年4月の開校に間に合わないと公表された。急遽、議会への説明を皮切りに、筑波地区の児童・生徒及びその保護者・学校関係者への説明会やアンケートが実施された。その結果をもとに、1月26日の教育委員会で『開校はH30年4月に延期、ただし筑波東中学は工事完了後H29年9月から新校舎へ移動』と決定した。しかし、この間、関係者には多大な作業や精神的負担が発生しており、開校時期が決定して一件落着とはとても言えない状況だった。

このような中、今年3月議会直前になり、再度、議会の緊急招集があり「以前から工事完成の遅れを認識していたにも関わらず、関係保護者はじめ議会へ報告をしてこなかった」として、市長と教育局からお詫びがあった。また、同時に公表された関連文書の会議録には「工事遅れの理由について、工事監理者、施工者、営繕・住宅課、教育施設課に責任を押し付けないよう天候や環境とすること」という記述まで残されていた。組織ぐるみの隠ぺいが行われていたといわざるを得ない。

『なぜ、このような事態が起きてしまったのか？』という疑問と『もし、工期の遅れがもっと早く知らされていたら、子ども達まで巻き込んだ多大な作業や精神的負担は不要だったのではないか』という強い憤りを感じ、全員協議会と一般質問で理由を追及した。しかし、前市長と前教育長の体制下で起きたことなので、当人の答弁が得られず、真相はつかめぬまま。

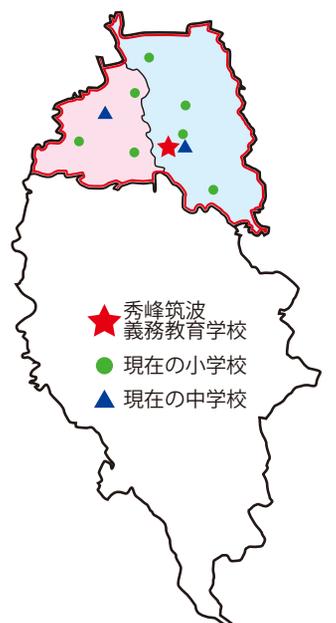
### 秀峰筑波義務教育学校の経過

赤字は今回公表された会議録より判明したこと

前市長	前教育長	現市長	現教育長
	H27年 12月		入札前に工期延長もやぶさかではない旨の話が教育局からあった
	H28年 4月		本体工事は工期延長もやむを得ない
	10月		工事遅れの理由は天候や環境にする
	11月		市長交代
	12月		工事完成の遅れ公表、お詫び
	12月		教育長交代
	H29年 1月		開校時期についてのアンケート実施
	1月		総合教育会議(2回)
	1月		教育委員会
	3月		「不適切な報告」のお詫び

解明のためにも100条委員会を設置すべきではあったが、地元では開校時期の判断をめぐり混乱している状況や児童生徒への影響も考慮し、今回は「再発防止を求める決議」と「開校に向けて地域に寄り添い豊かな教育環境づくりを求める決議」とどめた。

ただ、今回の事案は単なる隠ぺいの問題にとどまらず、根底には組織運営の在り方が問われていると考えられる。市民ネットは引き続き真相究明をしていきます。



# 高齢化対策と子育て、これから大きく動く福祉政策



つくば市議会議員  
総務常任委員

## 皆川ゆきえ

### 一般質問項目

- ・成年後見制度
- ・通学路の安全確保
- ・市所有のバス活用
- ・地域包括支援センター



### 1. 成年後見制度の活用について

高齢化社会に向け成年後見制度の活用が望まれています。制度がわかりにくいという声があるため、この制度と相談事業について質問しました。

成年後見制度は高齢者や障害のある方など、判断能力が不十分な方々を法律面や生活面で保護し支援する制度です。具体的には介護保険利用に際しての契約や施設の入退所、財産管理などの面で、本人に代わって成年後見人がサポートすることができます。

親族が後見人となる場合は親族が家庭裁判所に申し立てを行います。申し立てをしてくれる親族が居ない場合や、本人が虐待を受けている場合には、福祉的な保護が必要なので、市長が親族に代わって家庭裁判所に申し立て、後見人を付けることもできます。成年後見制度については、地域包括支援センターが窓口なので気軽に相談してください。

成年後見制度の課題としては、弁護士や司法書士などが成年後見人となった場合に毎月費用が発生するため、制度利用を躊躇する方が多いことです。他の自治体では法人後見や市民後見人制度を取り入れて、比較的低額で利用しやすくなっているところもあります。つくば市でも検討を進めるよう、要望しました。

### 2. 筑波・荃崎にH29年度に地域包括支援センターを設置!!

これまで市役所に1か所しかなかったため、周辺地域への設置を要望してきた地域包括支援センターが、いよいよ筑波と荃崎に設置されます。

地域包括支援センターは“高齢者が住み慣れた地域で、安心した生活が続けられるように支援を行う総合機関”。今回新たに設置される2つのセンターは社会福祉法人等の民間に委託する予定です。民間委託で地域（区会や民生委員、社協など）との連携や、困難事例への対応、在宅医療の推進など、地域課題を抽出して政策につないでいけるのでしょうか？ 行政がしっかりとイニシアチブをとり、2つのセンターと綿密に連携し、高齢福祉政策を推進する必要があります。

周辺地域では“役所が遠くなり見放された”という声も多数聞かれる中、大変期待されるセンターです。行政主導で着実に進めるよう要望しました。

### 3. 通学路対策の窓口一本化を!

現在、通学路対策はその対応箇所や対応案件により、警察や茨城県、市役所内でも担当課が分かれています。窓口がばらばらで市民には非常に分かりにくいので、窓口の一本化と取り組み状況の公表、および予算拡充を要望しました。

## 地域交流センターを地域の話者が集まる場所に

### ☆地域交流センターって何するところ?

サークルのための活動場所? 講座を受けに行く場所?

つくばではH23年まで「公民館」と呼んでいましたが、「交流センター」と名前を変えました。地域交流センター基本計画には「市民の学びを促す」、「地域の活力を促す」、「世代間交流を促す」、「地域内交流を促す」、「市民が利用しやすい」施設を目指す、とあります。しかし地域の活力とか、世代間交流、地域内交流がなかなかすすめられず、貸し館状態だと指摘されています。

今回、市内17カ所の地域交流センターをすべて見てまわりました。しかし、目的であるはずの「地域コミュニティの形成をする場」とはほど遠く、どこもオープンスペースが少なく、一人でフラっときて気軽に話したり相談したりする雰囲気はないなあ、と感じました。

### ☆地域のつながりを作る場へ

そこで、オープンスペースを広く設けて、地域住民の憩いの場所としてはいかがかと提案しました。職員も事務室にこもっていないでお茶を飲みながら住民と話したり、講座や講師の紹介をしたり、サークル活動に来ている人に今日の活動はど

うだったかなど感想を聞いたりする。交流センターを地域の話者が集まる場所にして、地域のことをああでもないこうでもないという言ってもらって、一人の問題を地域の問題にして地域で解決していく。そんな取組みが地域コミュニティの形成につながるのではないかと、そのためにはそういったことをコーディネートする職員も必要である、と提案しました。

### ☆TX沿線地区に交流センターを

また、TX沿線地区は人口の増加が著しく、地域づくりが課題になっており、つながりを作る場として交流センターの新規設置が強く望まれています。今後について質問すると、五十嵐市長からは「TX沿線開発地区では、公共施設のために県の用地がとってある。今後、県に対して用地の取得を正式に依頼していかなければならないと思っている」との答弁がありました。新規設置に向けて一歩前進! です。より良いものができるようにこれからも働きかけていきます。

その他、公設民営児童クラブの公営化について進捗を質問しました。29年度から荃崎第一・第二児童クラブを公営化し、その他の児童クラブについては市職員による相談窓口を強化する、とのことでした。こちらもしっかり見守っていきたいと思います。



つくば市議会議員  
文教福祉常任委員

## 小森谷さやか

### 一般質問項目

- ・地域コミュニティの形成
- ・放課後のこどもの居場所



## 2017年3月議会議決結果

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	統一会派つくば 政清会・民進党の会	つくば市民 政策研究会	公明党	日本 共産党	新 社会党	筑波 クラブ	創生クラブ はがくれ	山中 八策の会
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	採択	○	×	○ ×:大久保	○ ×:須藤	×	○	○	×	○	
学校建設工事の工期遅延に関する不適切な対応によって議会および市民の信頼を損ねた問題の再発防止を求める決議	可決	○	○	×	×	○	○	○	×	○	
秀峰筑波義務教育学校の開校に向けて地域に寄り添い豊かな教育環境づくりを求める決議	可決	○	○	×	×	○	○	○	×	○	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長:塩田)		*宇野、北口 皆川、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、大久保 木村修、木村清	*須藤 柳沢 高野進	*小野 浜中 山本	*滝口 橋本 山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田 (議長)



### 主な活動報告

- 1/21 CSA(Community Supported Agriculture)学習会開催
- 1/30、2/20 市民映写室kino開催
- 2/ 4 講演会「プレイパークってどんな遊び場?自由な外遊びが育むたくさんのもの」参加
- 2/5、3/5、4/2 つくば市民による財政白書づくりの会参加
- 2/ 5 市民ごみ大学セミナー「紙類リサイクルの最前線」参加
- 2/10、12 議員と話そう会開催
- 2/17 水道事業学習会開催
- 2/22~3/17 3月定例市議会
- 2/25 門脇厚司氏講演会「社会力が地域を創る」参加
- 2/26 つくば市民ネットワーク第13回総会
- 2/28 地域の絆フォーラム「見守りで紡ぐ地域の安心」参加
- 3/ 4 講演会「長寿社会のまちづくり~柏プロジェクトの実践~」参加
- 3/ 5 「3.8国際女性デーつくばのつどい」参加
- 3/11 さよなら原発!守ろう憲法!つくば共同アクション集会 & パレード協賛
- 3/26 市民と議員の条例づくり交流会議参加  
「新公会計制度と議会の予算・決算審査」参加
- 4/ 1 広瀬隆氏講演会「原発再稼働と大震災」協賛
- 4/ 5 「ヒロシマからはじまったこと」お話し会開催

※放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城へも参加しています。  
※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。

## 生ごみを堆肥に!

### ダンボールコンポスト講習会

6月3日(土)10時半~ 市民ネット事務所



ダンボール箱を使って生ごみをリサイクル! 実演を交えて、方法やコツをご紹介します。要予約お申し込みは、029-859-0264(市民ネット)まで。

## 20年延長申請に反対の意見書提出 請願署名活動スタート!

東日本大震災後、損傷し停止したままの東海第二原発は、2018年11月に運転開始から40年を迎えますが、運転期間の延長を求める動きが出ています。

市民ネットワークは、反対の意見書を、国と県に提出するよう求める署名活動を始めます。

ご協力いただける方は、市民ネット事務所までご連絡ください。署名用紙はHPからダウンロードできます。

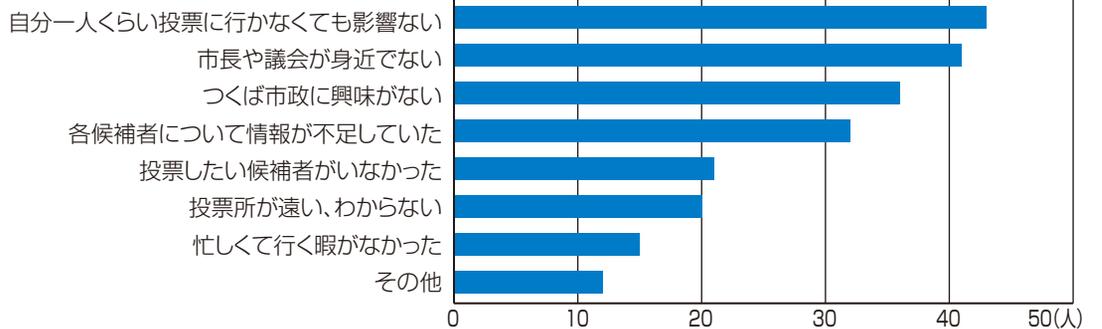


## 4年に一度のチャンスをつかもう!

選挙に関するアンケート結果報告(2017年1月~3月実施、75人回収)

つくば・市民ネットワークでは「投票に行くこと」が「市政に関わること」の入り口であり、大切な機会だと考えています。しかし、昨年の市議選・市長選の投票率は53%。回を追うごとに低くなっています。そこで、どうしたら投票率が上がるのかを考えるため、前回の通信49号でアンケートを実施しました。回答者75名中、投票に行った人72名、行かなかった人3名。そして、「選挙に行かない理由」を考えてもらったところ、次のような回答でした。

### なぜ投票に行かないと思いますか(複数回答)



それではどうすれば投票率が上がるかという問いに対しては、

- 行きやすい投票所(アクセスがよい、ショッピングセンターなど)にする
- 広報の配布方法、ポスター掲示場所など、選挙を知らせる手段を改善する
- 子どもの頃から自分たちで決めてそれを守る、ということを学習させることが政治への関心につながるなどのアイデアが寄せられました。

多かったのは「『政治』は他人事、と思っているから投票に行かない」というご意見。けれども、介護、子育て、交通など身の回りのさまざまな「困った」も「よくなった」も政治の結果。だからこそ、市民が日々考え、よりよい方向を目指して話し合う一方、市役所や議会はいつもの何をしているのか、しようとしているのかを公開する必要があります。そして、その結果が次の投票につながっていく。こんな循環が生まれるつくばを目指しましょう。

## 傍聴記

会派代表質問では、それぞれの会派の代表者が質疑したい内容をのべ、答弁者が質疑にこたえていくという形式であった。限られた発言時間に2回の発言が許されている1日目の議会は、質疑の内容からそれぞれの会派の個性が見えたものとなっていた。一般質問で印象に残ったのは、子どもへの政策に関する質問が多かったように思えた。つくば市は子どもたちのために様々な政策を考えているということがわかった。(大学生)

今回初めて議会を傍聴することができ、初日は厳粛な雰囲気緊張したことを覚えています。新しく市長になった五十嵐市長は、傍聴席の私たちにも聞き取りやすく、かつ政治に詳しくない私にも理解できるような説得力のある話し方でした。秀峰筑波義務教育学校の問題や水道事業の問題など、つくば市にはたくさん問題があることが分かり、それらを解決しようとする真剣な市長や議員さんの姿から今後のつくば市の成長に期待したいと感じました。(大学生)



### 市民ネット こども部会より

## 市民映写室 kino はじめました!

市民映写室kino(キノ:ドイツ語で“映画館”)は、今年が始まったばかりのドキュメンタリーを観る会です。こども部会には映画好きが集まっていることもあり、よくそれぞれ最近観た作品について話すのですが、昨年末ごろメンバーで何か新しいことがやりたいということになりとんとん拍子で発足しました。

現在kinoでは参加者それぞれが、いま関心のあるテーマを持ち寄り、感じたことを後でじっくりシェアしています。1月にはファストファッションについて、2月には沖縄の高江地区の現状について取り上げました。参加者の年代も幅広く、色々な方向からの意見が出るのもこの会の特徴です。今後は大きな作品を選び上映会を開催したいと話合っています。

情報化が進み膨大な量の情報が飛び交っていますが、真実は何なのかが見えにくくなっています。大きすぎる問題に接すると目をそむけたいこともありますが仲間がいれば大丈夫!「観たい映画があるんだけど一人だとテーマが重くて」「なかなかつくばの映画館で観たい作品がやっていなくて」という方いらっしゃいませんか。ドキュメンタリーへの関心がある方も無い方も、どうぞお気軽にご参加ください。次回以降の予定はHPでお知らせします。

つくば・市民ネットワーク 検索